

## 平成 30 年度宮崎県病院薬剤師会中小病院および療養病床委員会研修会

謹啓 時下益々ご清栄のこととお慶び申し上げます。

宮崎県病院薬剤師会中小病院および療養病床委員会では、日々の業務の中で起こる様々な問題について会員の皆様と一緒に考えていきたいと、学術委員会と合同で下記の研修会を開催することと致しました。

今回は、慢性期の病院でご活躍中の くまもと温石病院 薬局長 森直樹先生 をお招きし特別講演を賜ります。

また、先日ご協力いただいた療養病床アンケートについての報告も行います。

療養病床勤務の先生はもとより一般病床勤務等多くの先生方のご出席をいただきます様、どうぞよろしくお願い致します。

謹白

### 記

日時 平成 31 年 2 月 24 日（日曜日） 13 時～16 時 30 分

場所 株式会社アステム 宮崎支店 大会議場

12 : 30～ 受付開始

13 : 00～13 : 05 開会

13 : 10～14 : 40 特別講演

座長 延岡市医師会病院 薬局長 佐藤智加子先生

「薬剤師として存在感を示す業務を考える

～薬剤師が少ない組織でもやれることから～

くまもと温石病院 薬局長 森 直樹先生

14 : 45～15 : 00 療養病床アンケート報告 中小病院および療養病床委員会 甲斐裕美

15 : 00～15 : 10 休憩

15 : 10～16 : 20 意見交換

#### ① 病棟での活動時間の確保

療養病床では入院患者の多くが高齢者であり、一包化・粉碎・簡易懸濁等調剤に手間がかかる事が多い。処方変更により一から調剤し直すこともあり、調剤業務に時間を取られ病棟業務をしたくてもできないという状況である。病棟活動時間の確保について考える。

#### ② 減薬の提案

入院後持参薬鑑別をすると、多量の薬剤に驚くことが多い。それらの薬剤を整理し不必要なものを減らす際に何を基準にどこまで減薬するか迷うことが少なくない。減薬のポイントを理解することでその提案を積極的に行えるよう考える。